

青雲同窓会報

『偽』

(いつわる・にせ)
毎年世相を表す「今年の漢字」一字に
昨年一番多かった漢字です。



同窓会会長
高橋 安之

昨年一月大手菓子メーカー「不二家」が消費期限を延長、北海道の有名なおみやげ「白い恋人」や三重・伊勢みやげ「赤福」が製造日や賞味期限を偽装、北海道ミートホープ、秋田比内地鶏の食肉偽装、その他にも船場吉兆など食品偽装が問題になりました。

食品以外にも英会話学校NOVAの誇大広告や契約時の虚偽説明がありました。今年になってからもハガキやコピー用紙等、古紙配合関係で製紙業界が偽装

を行っていたとして問題となったところです。

二位以下の漢字も同じような理由で『食』『嘘』『疑』『謝』となっており、規制緩和施策により、他産業から企業参入が行われ価格競争となり、企業経営が厳しく先行き不透明となつてしまったため企業倒産や偽装が多かつたのではないか。何を信じて良いのか分からない、信用出来るものは何なのか本当に困つた時代となつたものです。

最近ようやく景気回復の

発行
岩手県立花北青雲高等学校
青雲同窓会
〒028-3172
岩手県花巻市石鳥谷町
北寺林11地割1825番地
TEL 0198(45)3731
FAX 0198(45)3745
発行人
会長 高橋 安之

きざしが出たと思つていたところガソリン・灯油の値上げです。環境にやさしいバイオ燃料として注目されているトウモロコシなどの生産が作付け切り替えなどにより増えたものの、価格の安い食料、飼料から原料が回され、穀物の価格が高騰している。

これからも厳しい経済情勢が続くものと思ひます。各企業とも企業倫理とか法令遵守に努め企業の信頼回復に努めてほしいものです。そして、安心して暮らせる社会になつてほしいものです。

同窓生の皆さんは各職場でリーダーとして活躍されているものと思ひますが、我々も意識を変え、感性を磨き、挑戦する姿勢をもつて、この厳しい社会を打ち

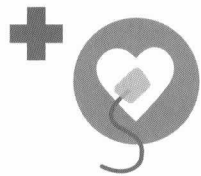
勝ち、夢ある後輩が目指す職場となるようにしたいものです。

また生徒の皆さんも基礎となる学力とマナーを身につけ、将来何になりたいか考え、日々努力を重ね社会人としてデビューし、我々と一緒になつて安心して生活できる社会を創つていきましょう。だれもが望む幸せのために。

十九年度も事業らしい事業を行つていませんが、在校生の保護者より預かつて同窓会費を生きた形で支出しようとする理事会で検討しています。

学校側からの要望として授業中や部活動中に心臓が痙攣等、突然の心停止状態に陥つた時に心臓に電気ショックを与えるAED(自動体外式除細動器)の設置について、厳しい学校運営予算のため県教委にも相談しているが

高額なため設置に至っていない状況とのこと



全国的にみても岩手県の設置が遅れているところですか、いつ必要になるかわからないもののため、同窓会で購入できないか担当の先生から提案され、同窓会としても部活動や合宿中などに心不全の人がでた場合や学校付近で必要になつた場合を考えると、地域に支えていただいている学校としても設置すべきとし、青雲会館運営からの支出を理事会で決定しました。

また、昨年セミナーハウスが建設され、テレビの購入について話し合われていましたが、テレビも購入することとしましたのでお知らせします。

日ごろ同窓会運営に対し、校長をはじめ各先生方にお世話いただいていることに感謝申し上げますとともに、同窓生の皆さまに対しても同窓会並びに学校運営に対するご支援とご協力をお願いいたします。

青雲台

花北青雲高等学校

校長 山口 勝男

石鳥谷の住宅地図で「青雲台」という地名を探してみると、現在の石鳥谷小学校の校庭あたりにあることがわかります。いつ頃から青雲台という地名が生まれたのか、学校の図書館にある「石鳥谷町史」(上、下巻)を調べてみても、どうしても見つけることができませんでした。そのような折に、石鳥谷小学校の北東側のちょうど石鳥谷駅を見下ろせる小台地に「青雲台」と記された石碑を見つけました。改めてよく見ると、「命名者 柳原利一郎建立の碑 昭和31年8月吉日」と記されてありました。昭和31年といえば、花巻市下幅の桜雲台にあった花巻北高校の商業科第一期生が卒業した年です。その場所にはまだ石鳥谷分校の影も形もなく、統合前の旧石鳥谷中学校がありました。



現在、石鳥谷小学校にある石碑

花北青雲高等学校が花巻北高等学校から分離独立した際に、花巻北高校のあった「桜雲台」にちなんで「青雲台」と名づけたのではないかと推理してみたことがあります。しかし、昭和41年4月に石鳥谷町に花巻北高校石鳥谷分校(花北商業高校の前身)が設置された当初、現在の石鳥谷小学校のある場所には石鳥谷中学校の古い校舎が建っていて、花巻北高校石鳥谷分校はその一角を借りてス

タートしているのです。したがって、それ以前から、すでに「青雲台」という地名は広く町民に認知されていたということになります。石鳥谷中学校の記念誌のなかに、昭和39年度卒業生が「私が通っていた石鳥谷校舎は、……好地のいわゆる街中よりみれば高台に有り、青雲台と呼ばれている所です。」と書いてありますし、また、昭和39年度の行事の記録に「青雲台をバックに記念写真をよく撮る」との記述もあります。したがって、昭和41年花巻北高石鳥谷分校が設置された時になって、「桜雲台」に倣って新たに「青雲台」と命名したとは思え

ません。その当時の石鳥谷分校生徒会誌のタイトルが「青雲台」となっていることからしても、当時の学校があった場所(JR石鳥谷駅の西側の高台)が、すでに青雲台と呼ばれていたことは間違いないようです。

昭和49年4月に花巻北高等学校から花北商業高校として分離独立し、昭和51年7月に、北寺林の地に新校舎が完成して移転した後も、「青雲」という名前は生徒会誌や同窓会名(青雲同窓会)として受け継がれ、「青雲魂」という言葉も引き継がれました。しかし、青雲台という地名は移転前、好地にあった旧石鳥谷中学校、現在の石鳥谷小学校のある場所を指す地名であるにも拘わらず、あたかも現在の校舎のある場所が青雲台であるかのように思われています。現在の校地のど真ん中に「青雲台」と揮毫された大きな石碑が鎮座していますが、この石碑は、昭和51年10月22日に柳原利一郎氏によって寄贈されたという記録

が残っています。何故、柳原氏は、かつて自ら青雲台と命名した場所から800メートルほど離れた地に青雲台を移転させることにしたのでしょうか。その年には、「青雲魂」によって培われてきた花北商業高等学校の硬式野球部が、見事甲子園出場を果たしていますが、これに感激して移転を了承し、石碑を寄贈することにしたのでしょうか。はたまた、ただ単に移転前の地から連なる台地にあるので青雲台を拡張解釈しただけなのか、今ではまったく知る術もありません。もしご存知の方があれば是非とも御教示頂きたいと存じます。

ちなみに、現在の花巻北高校のある場所も「桜雲台」ではありません。現在の桜台小学校は、花巻北高校が昭和52年に本館に移転した後、校名が物語るように、昭和54年4月、その跡地に開校しています。

平成19年度 青雲講演会

講師 鹿討^{しうち}

康弘氏^{（昭和51年度 本校商業科卒業）}

花巻北高商業課石鳥谷分校から花北商業として独立した年に入学した。北高のセーラー服の先輩と花北商業ブレザーの女子達に囲まれた、今思えば「とても恵まれた夢の様な」環境だった。しかし良い事ばかりは続かない。それは地獄の応援歌練習。入学当時、まだ校歌が出来ていなかったの北高の校歌や応援歌を団員に脅されながら必死で覚えた。やっと終わったと安心した矢先、新校歌が出来てきて、また地獄が始まった。当時の応援団員の先輩と会う機会があるが、未だに怖い。中学は野球三昧だったが、まさか数年後に同級生が甲子園に出場するとは思わなかったので進学と同時に迷わず方向転換し、バンド活動に全身全霊、打ち込んだ。当時は70年代フォークブームの真っ只中で、地元では、まあまあ知られる存在になった。バンド名を言えば、覚えてるお母さん達も一人位はあるかもしれない。2年生の時には「停学」も経験した。喫煙が見つかった後輩が、素直にペラペラと喫煙者の名前を白状した結果、全校で30名ほどの停学処分。付き合いく仲

間に入ってしまった。1週間の自宅謹慎だったが、謹慎明けの土曜日にラジオの公開放送に出場する予定があった。何事も前向きにとらえる性格だったので、仲間と、自宅でみっちり練習することにした。ところが、まさに「ガンガン」と音を出している真っ最中、当時の担任で後に、本校の校長にもなられた日先生が、抜き打ち家庭訪問を実行。様子を見て来て玄関に立っていたのだった。慌てて理由を説明すると、謹慎中にも関わらず「そうか、頑張れよ」と一言：叱りもせず帰って行った。そんな時代だった。

1浪の末、経済的事情と成績の都合で、駒沢の2部（夜学）に進んだ。1年目は塗装店でビル屋上からゴンドラやブランコで下りながら外壁塗装、2年目はオーブンしたばかりの渋谷109の高級京うどん店で調理を覚え、学業そっちのけで生活費を稼ぐ毎日：結局2年で中退し、地元に戻った。半ば本気で「あわよくば、プロに」などと考えていたのだったが、コンテストでの入賞記念の1枚のシングルレコードが最後の思い出になった。地元の喫茶店で雇われ店長を4年間努め、独立して小さな喫茶店を出す事が出来た。しかし27歳の時、結婚を期に、店じまいをしてサラリーマンになった。不安定な収入環境を捨て、安定を選んだ結果だった。しかし、わずか4年間の個人営業だったが、休まずに仕事をすることの大切さを身を持って学んだ。勤め先は工業団地に誘致されてきた東京本社光学器メーカー花巻工場。職務内容は「顕微鏡組立」。まったくの異分野で不安ばかりだったが、埼玉での2ヶ月の研修に挑んだ。何とか終えて戻ってみると友人関係に変化が生じていた。「店を潰して、女と逃げた」ことになっていたのであった。「閉店パーティー」も行い「結婚を祝う会」も行ってももらったにも関わらず、噂の元は、かつての常連客の一部だった。この時の経験で「人の噂話を簡単に信じない」「看板で人付き合いしない」とを学んだ。噂の殆どは心ない無責任なもの、つまらない風評に流されない気持ちの大切さ、そして絶対調で会社や店舗の看板を背負っている時は沢山の人が寄って来るが、真の友人関係とは、どんな環境変化があっても、ぶれずに、いつも傍にいてくれるもの。この時、若かったせいかわいさ、きつと見返し

てみせる」と思った。工場では現場作業を徹底的に叩き込まれた。組立はもちろん、図面の読み方、機械加工まで学んだ。しかし7年目に変化が起きた。円高不況のためにタイ工場に生産を転換。花巻工場は撤退と決まったのだ。この頃、顕微鏡組立から機械加工受注にシフトしていた技術と雇用を守るべく、組合主導の元、4社7名の共同出資会社として再生することになった。この時、自分も出資、役員に推薦された。後で聞いた話では、タイ工場に出向した上司に変わり、代理として土日もなく深夜まで一人で残っていた姿を見ていた、ある企業の社長が「責任感だけはありそうだ」と推薦してくれたらしい。この時「一生懸命努力をすれば、誰かが見てくれる」と実感した。創業時は信用も資金もなく苦労したが、大手メーカーとの直接取引に成功したことがきっかけとなり急成長、新たなビジネスモデルを提案しながら、現在は半導体露光装置を柱に「超精密加工・表面処理ユニット」まで一貫生産、50名の少数精鋭で24時間稼働工場として全国にユニザーを拡大している。以来、団地内企業の役員兼務で多忙な社長に代わり、専務として工場内のシステム構築から労務管理、営業、品質・技術業務まで

実務をこなしてきた。本校も含めて毎年、新卒を雇用しているが、未だ未熟な自分であるが、OBとして恥ずかしながら意見を述べたい。戦国時代の武將は代々「とりえのある者を召抱えよ」と語り継がれたらしい。今なら特技。特技はある日突然生まれない。初めに好奇心があり、費やした時間や訓練で忍耐や集中力が養われる。自分は最近3年振りに音楽活動を再開したが、一旦身についた「センス」は消えていなかった。技術は練習すれば戻るが、センスは「質量」と平行する。若い頃、消費した時間や経験、「限界」を超えた所まで何かをやり遂げ身に付いた「質量」は決して嘘をつかない。逆に言えば、中途半端な実行は何もしなかった事と同じ「0」である。あるセミナーで著名な講師が言っていた受売りだが「閥値」と言うらしい。自分はずっと運が良かった。しかし「運」や「つき」は努力の先に待っていて、それを手にするのは努力をしてきた人だけ。こつこつと努力を続ける人を必ず誰かが見てくれる。家族や上司、友達かもしれない。反対に何もしない人の事も、しっかりと見ている。高校時代を「無意味な時間」にするか、「有意義」にするか、自分次第である。

平成18年度 事業報告

4月7日(金) 入学式
 5月10日(水) 第1回理事会 於 いとうや
 6月17日(土) 東京支部総会 於 大雅
 7月26日(水) 第2回理事会 於 新ばし
 8月19日(土) 定期総会 於 花巻温泉
 ホテル紅葉館
 10月17日(火) 青雲講演会 於 本校第一体育館

1月19日(金) 第3回理事会 於 新ばし
 2月28日(水) 青雲同窓会報第27号発刊
 2月28日(水) 同窓会入会式
 3月1日(木) 卒業式
 3月23日(金) 送別会
 3月26日(月) 会計監査

平成19年度 事業計画

4月6日(金) 入学式
 5月10日(木) 第1回理事会
 6月16日(土) 東京支部総会 於 大雅
 7月27日(金) 第2回理事会 於 新亀屋
 8月18日(土) 定期総会 於 花巻温泉
 ホテル紅葉館
 10月18日(木) 青雲講演会 於 本校第一体育館

1月25日(金) 第3回理事会 於 新ばし
 2月29日(金) 青雲同窓会報第28号発刊
 2月29日(金) 同窓会入会式
 3月1日(土) 卒業式
 3月24日(月) 会計監査

平成19年度 青雲同窓会役員名簿

役職名	卒年	氏 名
会 長	46	高 橋 安 之
副会長	49	松 田 和 宏
副会長	49	伊 藤 操 一
副会長	55	藤 原 康 洋
理 事	43	多 田 義 明
理 事	46	佐々木 俊 幸
理 事	54	千 葉 俊 明
理 事	55	高 橋 武 政
理 事	57	岡 田 知 穂

東京支部

支部長	45	菅 原 崇 人
事務局	49	佐々木 則 司

役職名	卒年	氏 名
理 事	57	三 宮 真 利
理 事	61	小 野 英 二
理 事	H7	藤 原 理 沙
理 事	H11	伊 藤 淳
監 事	58	伊 藤 秀 巳
監 事	60	菊 池 司
監 事	H11	小 原 学
顧 問	43	阿 部 正 介

事務局	63	中 島 清 郎
事務局	H8	高 橋 律 子

job大賞(NPO法人仕事への架け橋賞)

テーマ◎私の理想とする職業人

「大きな夢を持つ父を見て」

岩手県立花北青雲高等学校
1年 畠山 正徳

私が理想とする人は、農業をしている私の父です。私の家は、祖父の代にたった3頭から肉牛の肥育を始め、現在は、約130頭もの黒毛和種を有する家畜経営農家です。その牛、1頭1頭と向き合いがんばっているのが、父です。

なぜ、私が理想とするかというと、動物への愛情、人への愛情がとても素晴らしいからです。毎日、朝5時に起きて、牛を1頭ずつ見て回ります。具合が悪い牛はいないか、時間をかけて見ます。私の母や祖母も手伝っています。夜には、私や兄も手伝います。季節によっては夜11時過ぎまで働くこともあります。

365日、1日も休まずに頑張る父の姿を見て育ってきた私は、愛情ということについて、深く考えることができました。父はよくこう言います。「愛情をかけた分、その牛は恩返しをしてくれる」。

小さい頃はよく意味が分かりませんでした。今になりその意味が分かるようになりました。私は、父に連れられて牛のと殺場に行ったことがあります。うなっている牛の声がしたので見に行くと、あまりにも悲惨なものでした。

ハンマーで牛の額を叩いて気絶させ、足からつるし、首を切り落とします。大量の血が流れて皮をはいで、

内臓を取り出し肉だけにしていきます。

何も言えずにただただ立っている私に、父は、「こいうやって殺されていくのだぞ。この命をもらって、うちら家族は暮らしているのだ」と言いました。

それから、私の考えは少しずつ変わり、「最後まで責任を持って育てる」「嫌な思いをさせないように努力する」「最後は笑顔で見送りたい」と思うようになりました。ですが、一生懸命育てた自分の牛が出荷になると、自然に涙が流れて笑顔で送る事ができませんでした。そんな時も父は声をかけてくれます。

「自分が満足できるぐらいがんばって、育てたらそれでいいのだ」。

いつも、一言しか言いませんが、その父の言葉に私は支えられています。

私の父は今、たくさんの方に挑戦しています。私の父が中心となって活動している「しわ牛研究会」。

その研究会が1番力を入れているのは、牛の肉質を変え甘みを増やすことです。地域で取れた粗飼料と、紫波町が誇る生産日本一のヒメノモチの粉砕、黄熟期前の栄養の高い稲をそのまま刈り取り、乳酸菌を入れて醗酵させたホールクロップサイレージを、母牛と肥育牛に与えることにより高い等級かつ評価を上げています。

このように飼育した牛を「しわもち牛」とブランド化し、全国に「安心・安全な牛肉」というイメージを消費者の方々に広げることにも力を入れていきます。それとともに牛から排出された糞尿を堆肥化し、農地に戻すことで資源循環

型農業を実践しています。つまり、環境問題も少しづつではありますが取り組んでいると思います。

そんな父を見て私はたくさん知識を得ることができていくことは不可能です。家族や友達、地域や社会の人々。それらを取りまく自然も含め、たくさんものものに支えられているはずで。それらを当たり前と思わずに、感謝の気持ちを持つことが大切だと思います。そうすることにより、自然に父や私が思う愛情につながっていくはずです。将来は、家族で協力し父・兄を中心とし、大規模一環経営農家を作り上げたと思っています。

job大賞(NPO法人仕事への架け橋賞)

テーマ◎私の理想とする職業人

岩手県立花北青雲高等学校 1年 畠山 正徳

「大きな夢を持つ父を見て」

私が理想とする人は、農業をしている私の父です。私の家は、祖父の代にたった3頭から肉牛の肥育を始め、現在は、約130頭もの黒毛和種を有する家畜経営農家です。その牛、1頭1頭と向き合いがんばっているのが、父です。

なぜ、私が理想とするかというと、動物への愛情、人への愛情がとても素晴らしいからです。毎日、朝5時に起きて、牛を1頭ずつ見て回ります。具合が悪い牛はいないか、時間をかけて見ます。私の母や祖母も手伝っています。夜には、私や兄も手伝います。季節によっては夜11時過ぎまで働くこともあります。

花北青雲高等学校活動報告へ各種大会結果

運動部

【硬式野球】

春季高校野球岩手県大会

1回戦

花北青雲 1 1 0 0 0 0 0 2
大船渡 3 0 0 1 6 1 × 11

(7回コールド)

高校野球選手権岩手大会

大 野 1 0 2 3 0 0 0 0 0 6
花北青雲 0 0 0 0 1 0 1 1 0 3

【バドミントン】

男子団体戦 3位 (東北大会出場)

男子個人戦

ダブルス

平賀 奏・小原 是組

1回戦敗退

平賀勇貴・鎌田光寿組

1回戦敗退

昆 大貴・畠山春樹組

2回戦敗退

シングルス

平賀 奏 1回戦敗退

畠山春樹 2回戦敗退

平賀勇貴 準優勝

(インターハイ・東北大会出場)

女子団体 3位

(東北大会出場)

ダブルス

千田祥子・藤村奈津美組

1回戦敗退

阿部明日香・濱田 南組

2回戦敗退

古川聡美・八重樫 礼組

ベスト8 (東北大会出場)

渡邊未紗・山影 遼 組

ベスト8 (東北大会出場)

シングルス

伊藤結衣 1回戦敗退

山影 遼 2回戦敗退

阿部明日香 2回戦敗退

渡邊未紗

ベスト8 (東北大会出場)

【陸上】

男子高跳び 6位 佐々木寛満

(東北大会出場)

女子競歩 3位 澤田真弓

(東北大会出場)

【バレーボール】

男子

1回戦

花北青雲 0-2 盛岡工業

女子

1回戦

花北青雲 0-2 久慈

【ソフトボール】

1回戦 北上翔南高校

2回戦 不方来高校

準々決勝 花巻東高校

4-0 勝
4-1 勝
0-7 負
ベスト8

【卓球】

男子ダブルス

檜原、清水組 2回戦敗退

女子団体

1回戦 本校 3-2 水商

2回戦 本校 0-3 軽米

(ベスト16)

女子ダブルス

畠山・高橋組 2回戦敗退

女子シングルス

1回戦 畠山 1回戦敗退

2回戦 高橋 2回戦敗退

【サッカー部】

男子

高総体地区予選

花北青雲 1-4 花東

花北青雲 2-0 紫波

予選敗退

全国高等学校サッカー選手権

岩手県二次予選

花北青雲 0-1

盛岡第三高校

女子

2回戦 花北青雲 1-2 水沢高校

2回戦敗退

【ソフトテニス男子】

個人戦

菊池雄太 小國奎馬

1回戦 3-4 一関工業

団体戦

1回戦

花北青雲 1-2 千厩

【ソフトテニス女子】

個人戦

藤原由佳・藤根千明 組

2回戦 4-2 不来方高校

3回戦 0-4 水沢商業

団体戦

1回戦 1-2 盛岡大学附属

【柔道男子】

団体戦 予選リーグ

盛岡南 4-0 花北青雲

水沢工 2-3 花北青雲

男子個人戦

60kg以下級 2A 藤田廉太郎

90kg以下級 2A 四戸靖幸

100kg以下級 1C 千田 匠



(PK戦
1
—
3)

【バドミントン部】

男子

団体戦 第3位 東北大会出場
個人戦 ダブルス

高橋祐弥・小原光平 1回戦敗退
佐藤祐弥・大山達也 2回戦敗退
小原 是・鎌田光寿 3回戦敗退

シングルス
佐藤祐弥 2回戦敗退
鎌田光寿 2回戦敗退
小原 是 3回戦敗退

女子
団体戦 第4位 東北大会出場
個人戦 ダブルス

高橋理紗・大野 愛 1回戦敗退
古川聡美・八重樫礼 2回戦敗退
及川美香子・千田祥子

久米 杏・濱田 南 2回戦敗退
阿部明日香・藤村奈津美 3回戦敗退

シングルス
古川聡美 2回戦敗退
八重樫礼 2回戦敗退
久米 杏 2回戦敗退
阿部明日香 3回戦敗退

【ソフトテニス部】

男子

団体
1回戦 花北青雲 3-0 平館
2回戦 花北青雲 2-1 久慈東
3回戦 花北青雲 1-2 黒沢尻北

個人
三浦・角掛 2回戦敗退
菅原・大竹 1回戦敗退

女子

団体
1回戦 1-2 盛岡第二
個人
金野真弓・菅川恵子 組
ベスト16 ジュニア選抜、選抜
インドア出場

【柔道部】

男子

団体戦
1回戦 3対1盛岡三
2回戦 0対5黒沢尻北
メンバー
藤田廉太郎
菊池伸太郎
千田 匠
柏田達也
四戸靖幸

個人戦
60 kg以下級
藤田廉太郎 ベスト16
菊池伸太郎 3回戦敗退
73 kg以下級
柏田達也 1回戦敗退
81 kg以下級
四戸靖幸 1回戦敗退
90 kg以下級
千田 匠 1回戦敗退

女子
団体戦
1回戦 1対2 久慈東
個人戦
48 kg以下級
千田愛子 1回戦敗退
52 kg以下級

秋季大会県大会

【野球部】

1回戦 花北青雲 3-1 盛岡一
2回戦 花北青雲 4-5 久慈東

東北大会

【バドミントン部】

第36回全国選抜バドミントン大会東北
地区予選会 1月24日～1月27日
青森県弘前市
男子団体1回戦
花北青雲0-3帝京安積(福島)
女子団体1回戦
花北青雲3-0横手城南(秋田)
2回戦
花北青雲0-3弘前中央(青森)

文化 部

【商業研究同好会】

第37回岩手県高等学校生徒商業研究
表大会
「青雲高校発グリーンツーリズムと収
穫体験から商品開発を通して食の安全
をアピールしよう。」
佐藤愛弓、八重樫美咲、高橋千尋、
第4位 優良賞

【工業研究同好会】

ものづくりコンテスト2007岩手県

大会「電子回路組立部門」
優勝 阿部 貴未

岩手県工業高等学校ロボット競技大会
1, 2年チーム ベスト16
3年チーム 予選敗退

【生活研究同好会】

第2期 日本の環境を守る若武者育成塾
東北地区選抜 努力賞
第6回全国フラーアレンジメントコ
ンテスト
特別賞 3D 千葉恵

【O.A部】

岩手県高等学校ワープロ競技大会
団体 2位
個人 優勝 千葉麻美
3位 三浦菜佑子
正確賞 酒本愛美

岩手県高等学校新人ワープロ競技大会
団体 3位
正確賞 佐藤洋輔

【珠算部】

岩手県高等学校新人珠算競技大会
団体 3位
第34回東北六県高等学校珠算競技大会
読上暗算 第二位 1C 高橋美紀

【吹奏楽部】

H19年度全日本アンサンブルコンテス
ト花巻地区大会
金管八重奏…金賞
打楽器四重奏…銀賞
木管八重奏…銀賞
金管四重奏…銅賞